



第6次杉戸町総合振興計画 第1次実施計画
事務事業評価【外部評価】報告書



令和4年9月

杉戸町総合振興審議会

— 目 次 —

<u>1 はじめに</u>	1
<u>2 事務事業評価（外部評価）について</u>	2
<u>3 外部評価を実施した事業</u>	3
<u>4 評価結果</u>	4
1 がん予防推進事業	4
2 各種証明書等コンビニ交付サービス運用事業	9
<u>5 おわりに</u>	14
<u>■ 総合振興審議会委員名簿</u>	15

1 はじめに

第6次杉戸町総合振興計画が、令和3年度からスタートし、1年が経過した。

町では、基本計画に掲げられた未来像の実現のため、財政計画との整合性を図りながら、目標達成に必要な事業の実施計画を作成し、計画的かつ効率的な行財政運営を推進している。

計画の推進にあたっては、成果を重視した行政運営、限られた財源の有効活用等を目指し、計画期間中に実施した各事業について、内部評価として担当課長評価及び町長評価を行うとともに、開かれた行政、町民への説明責任、更なる効果的・効率的な事業の実施を目指し、総合振興審議会委員による行政評価（外部評価）を実施しているところである。

総合振興審議会では、実施された事業や内部評価に対して住民の視点による客観的な評価を行い、その意見を町の施策に反映させていくことで、協働のまちづくりを推進していくことができると考える。

そのため、この評価結果については、町長をはじめ、町職員の全員が真摯に受け止め、行政サービスの向上に不断の努力を払うとともに、次年度以降の各種計画の推進及び予算編成等に反映していくよう、要望するものである。

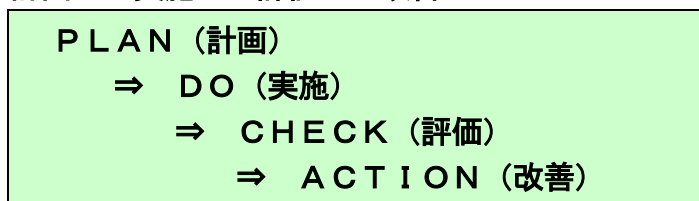
杉戸町総合振興審議会
会 長 菊地 信一

2 事務事業評価（外部評価）について

(1) 事務事業評価（外部評価）とは

- 事務事業評価（外部評価）とは、事業の成果を行政内部のみではなく、広く公開して、住民への説明責任を果たすとともに、その意見を取り入れ、今後の行政運営の参考とする仕組みであり、住民の視点に立った、目的及び成果を重視する行政運営を目指しています。

○ 計画 — 実施 — 評価 — 改善 のマネジメントサイクルの確立



(2) 外部評価の流れ

① 第1次評価（内部評価—担当課長）

各担当課が所管する事業について、担当課が評価をします。

② 第2次評価（内部評価—町長）

第1次評価結果（担当課長評価）について、実施計画の進行管理を担当する総合政策課が集計した後、町長が評価を行います。

③ 第3次評価（外部評価）

行政評価に住民の意見を反映するため、外部評価として、総合振興審議会委員により、総合振興計画に掲げられた各事務事業の中から数事業を選定し、評価を行います。

(3) 評価の項目

事業の評価	評価の視点	評価項目
① 事業の有効性	実績として効果があるか。 実績が未来像の実現に貢献しているか。	<input type="checkbox"/> 有効性が高い <input type="checkbox"/> 一定の有効性がある <input type="checkbox"/> 有効性に疑問がある <input type="checkbox"/> 有効性が低い
② 事業の効率性	コストに見合っているか。 実施方法は効果的か。	<input type="checkbox"/> 効率性が高い <input type="checkbox"/> 一定の効率性がある <input type="checkbox"/> 効率性に疑問がある <input type="checkbox"/> 効率性が低い
③ 事業の妥当性	町が関与する必要があるか。 手段は現行でよいか。	<input type="checkbox"/> 妥当性が高い <input type="checkbox"/> 一定の妥当性がある <input type="checkbox"/> 妥当性に疑問がある <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> おおむね順調である <input type="checkbox"/> 改善の必要がある	

(4) 外部評価結果の活用

評価結果については、町長へ報告し、次年度以降の予算編成並びに施策・事務事業の選択及び重点化などに活用するとともに、総合振興計画の進行管理及び見直し等に活用することを要望します。

3 外部評価を実施した事業

- 外部評価は、第1次実施計画に掲げた全ての事業（105事業）の中から、外部の視点で事業の方向性を議論することが有意義と考えられる事業について、2事業を選定し、事業の評価を行いました。

主要施策	評価対象事業	担当課	頁
13 自主的な健康維持の促進	41 がん予防推進事業	健康支援課	4
36 窓口サービスの向上	100 各種証明書等コンビニ交付サービス運用事業	町民課	9

4 評価結果

1 がん予防推進事業

1 評価対象事業の概要

事業名	41 がん予防推進事業
所管課	健康支援課
事業概要	<p>がんの予防及び早期発見の推進を図り、がん死亡率を減少させることを目的とし、がん検診事業を実施する。また、新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施し、がん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団検診：胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮頸がん ・ 個別検診：乳・子宮頸がん
事業効果	<p>がんの予防・早期発見により、がん死亡率を減少させることができる。Web 予約や受診勧奨により受診者の増加を図る。また、要精密検査の対象者への受診勧奨を行い、早期発見・治療を図る。</p>
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん検診の実施（集団・個別） ・ 新たなステージに入ったがん検診総合支援事業 <p>子宮頸がん（20 歳）受診無料券交付・乳がん（40 歳）受診無料券未受診者への受診勧奨ハガキ発送</p> <p>34,769 千円（当初予算額）</p>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん検診の実施 <p>【集団】胃 1,249 人 肺 1,758 人 大腸 2,263 人 前立腺 885 人 乳 641 人 子宮頸 548 人 【個別】乳 138 人 子宮頸 572 人</p> <p>集団検診の web 予約システムによる予約受付 受診人数 2,181 人 web 予約 1,105 人 予約率 50.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなステージに入ったがん検診総合支援事業 <p>子宮頸がん（20 歳）受診無料券交付 対象者 192 人（うち 1 人交付後転出） 受診者 27 人 受診率 14.1%</p> <p>乳がん（40 歳）受診無料券 対象者 228 人 受診者 67 人 受診率 29.4%</p> <p>未受診者への受診勧奨ハガキ発送 3,935 人</p> <p>30,350 千円（決算額）</p>
関連する 成果指標（KPI）	<p>がん検診受診率</p> <p>R3 末実績 13.8%</p> <p>R7 末目標 16.6%</p>

2 内部評価

(1) 担当課評価【第1次評価】

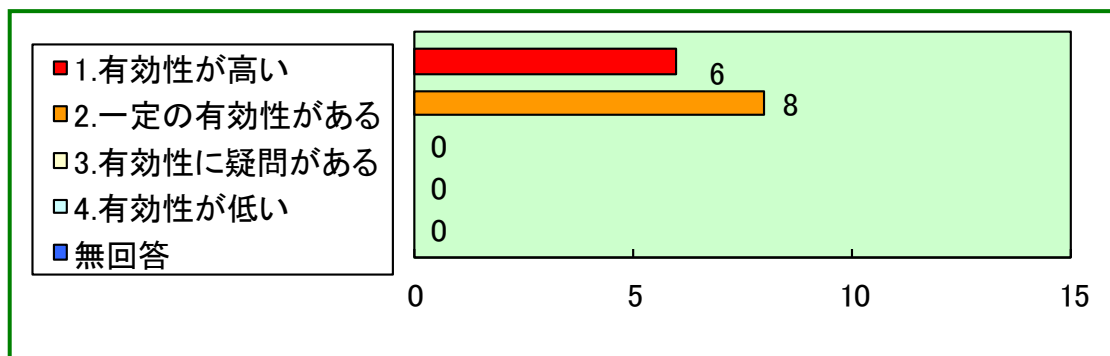
評価項目		コメント
事業の 評価	有効性	1. 有効性が高い がん検診の実施可能な医療機関に限りがあり、1回の検診で50人以上が受診可能な集団検診は有効である。 女性対象のがん検診については、個別検診も受診可能な体制にし、受診率向上を図っている。
	効率性	1. 効率性が高い 集団検診は、同日に複数の検診受診が可能。集団検診の予約は、web・電話・窓口であるが、web予約が年々増加しており、令和3年度は予約者の半数がweb予約となっている。今後もweb予約が増えることが予測される。
	妥当性	2. 一定の妥当性がある 集団検診と個別検診の併用で受診体制は妥当。
	総合評価	1. 順調である 集団検診のがん単独検診（胃・肺・大腸・前立腺）や女性のがん検診（乳・子宮頸・大腸）を希望する方が自ら検診受診行動（予約～検診受診～結果確認）をすればスムーズに検診が実施できる。 がん検診受診率は、令和2年度 13.0%で令和3年度 13.8%と伸びていることから順調とした。

(2) 町長評価【第2次評価】

評価項目		コメント
事業の 評価	有効性	1. 有効性が高い がん検診受診率が伸びていることから、集団検診と個別検診の二通りの受診体制やweb・電話・窓口の複数の予約方法は、受診率向上に有効的である。
	効率性	1. 効率性が高い 集団検診は、同日に複数の検診受診が可能であることや複数の予約方法が用意されていることは、受診者にとって効率的である。また、未受診者に対する受診勧奨も受診率向上に効率的である。
	妥当性	2. 一定の妥当性がある がんによる死亡率が高い中、早期治療につなげていくため、町が主体となって検診を行うことは妥当である。
	総合評価	1. 順調である がんの早期発見、早期治療のため、多くの町民に検診を受診してもらうよう、対象者への効果的な周知方法や、検診の重要性の理解を深める機会を確保したことで受診率の向上に繋がったと評価できる。更なる受診率の向上に繋がるよう「健康無関心層」および「若年層」へのアプローチについても、工夫改善を図り、積極的な周知に努めること。

3 外部評価 【第3次評価】

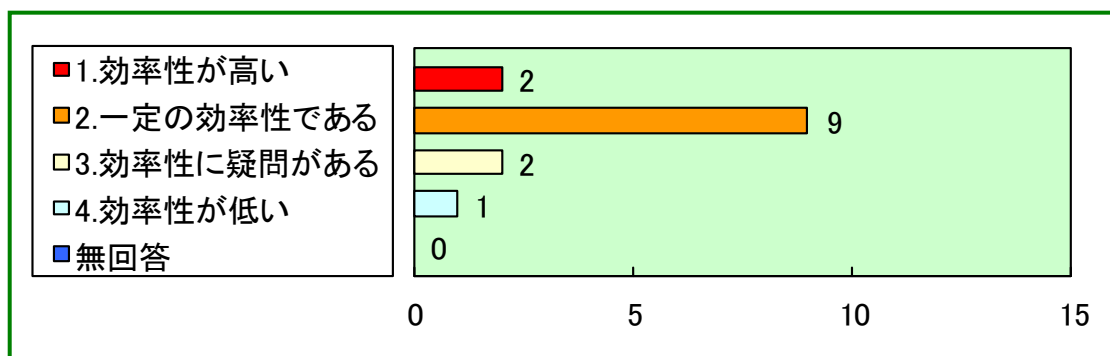
① 事業の有効性



委員からのコメント

- 自覚のない状態で複数の病院での受診は難しい。集団での検診は効果が高い。
- 早い検診で治るがんも多い。
- 集団検診は意識を高める上でも有効である。
- 国の事業として子宮頸がんは内診となっているが、20才の女性にはなかなか受診しにくいと思う。難しいと思うが、血液検査に方向転換を望む。
- 1回の検診で多人数の受診が可能な集団検診と女性特有のデリケートな検診は個別の体制とで、受診率向上に一定の効果が認められる。
- 現在実施している集団検診と個別検診、web 予約等の予約方法は、検診率向上に向けて有効と評価。
- がんの早期発見と正しい健康意識の普及を図っている点、有効性が高い。
- 受診率向上に努力を図っており有効性有。

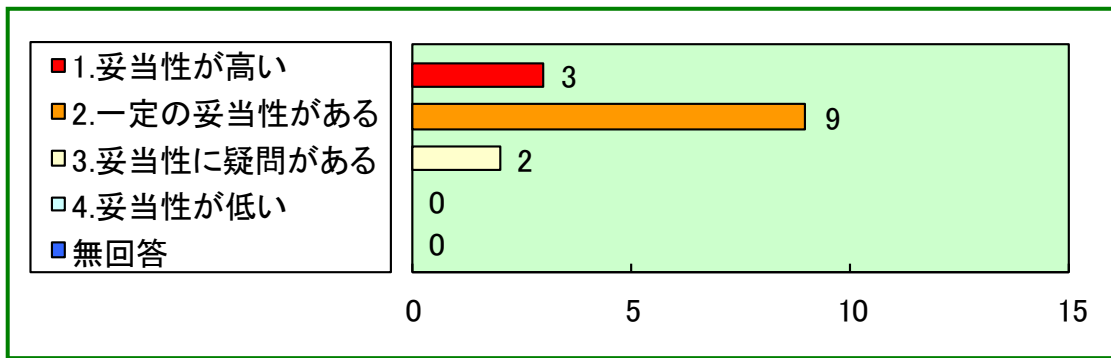
② 事業の効率性



委員からのコメント

- 同日に複数の検査が可能。受診勧奨も効率的。
- 集団検診で同時に多くの検査が出来ることが良い。
- 集団検診の予約は web 予約により今後増え受診者にとっても有効であると思われる。これにより、受診者が増えていけば事業費の効率性も高くなると思う。
- 集団検診は、同日に複数の受診が可能であり、効率性が高い。web 予約など効率性が高く、受診率向上に大きく寄与している。
- 検診受診率が県平均や近隣自治体を比較して横並びか低い傾向にあるので、更なる効率性を求めたい。
- web 予約などにより一定の効率性が認められる。さらなる効率性を求めたい。
- web 予約への対応など効率性がある。

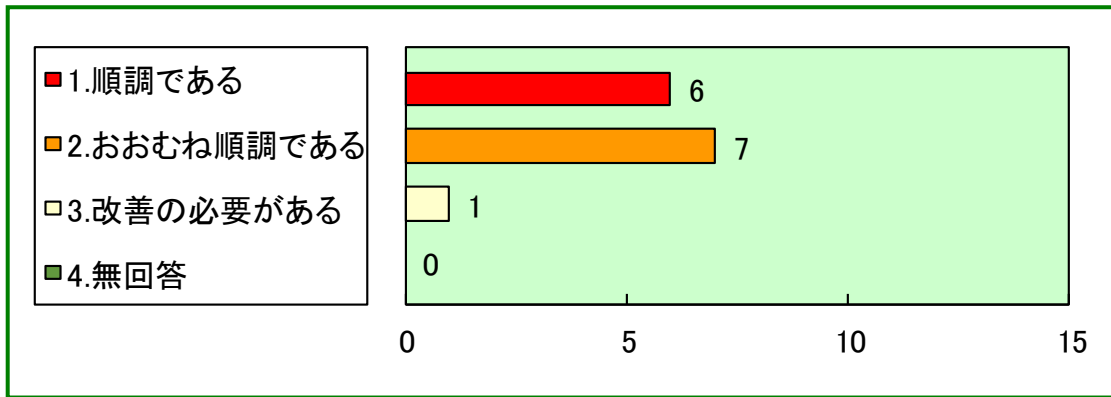
③ 事業の妥当性



委員からのコメント

- 一定の妥当性がある。
- 町民の健康を守る観点でとても重要である。町が積極的にリードしていく必要がある。
- 町民の健康を守るために、がんの早期発見・治療は大切なことなので、町が主体として行う検診は妥当だと思う。
- 事業推進の方法として、集団検診と個別検診を併用していくことは妥当と考える。
- 健康意識の普及啓発については、取組みが十分とはいえない。
- 未受診者への受診勧奨ハガキの発送などを行っている点、一定の妥当性がある。
- 受診体制は適正と判断できる。

④ 総合評価



委員からのコメント

- 検査の有効性を考えながらですが、がんの種類が多さを考えると検査の幅を少しずつ広げていく事はできないか（血液検査など）。あくまで将来に向けてですが。
- 血液検査の導入を早期に図られることを期待したい（町独自の策であっても良いのではないか）。
- 高齢者への受診のアプローチも必要と思われる。
- 3年度実績の実施内容の受診率を見ると、この施策の未来像には少し遠いと感じる。近郊の市町村と遜色はないので、問題なしのような扱いとなっているようだが、受診率が高くなるような、具体的な案を町独自で工夫改善することを期待します。
- がん検診受診率自体は伸びていることから総合評価は順調と評価しましたが、各項目の受診率が全国平均比劣位している項目も多く、推進策と一考する余地はあると思います。受診率の高い地域の施策と全く同じ施策を実施しているならば、地道に推進するしかないとも思います。受診率の高い地域の施策と全く同じ施策を実施しているならば、地道に推進するしかないとも思います。
- 事業所等の取組みを含めた、検診受診率の実質的な数値の把握に期待する。
- 各種がんによる死亡率の周知等により、がんの早期発見の重要性の啓発に期待する。
- 今後、全国受診率を目安に受診者を増加させることを願いたい。
- 健康無関心層、若年層へのアプローチを検討する必要があると思われる。
- 健康意識の普及が重要と考える。

2 各種証明書等コンビニ交付サービス運用事業

1 評価対象事業の概要

事業名	100 各種証明書等コンビニ交付サービス運用事業
所管課	町民課
事業概要	マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアにおける住民票等の交付を実施する。
事業効果	マイナンバーカードを利用した住民サービスの向上、利便性の拡大を図る。また、マイナンバーカードの普及を促しコンビニでの交付数が増加する事で、窓口業務の効率化を図る
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種証明書等コンビニ交付サービス事業を継続実施 ・ 戸籍証明書の交付サービスの追加 ・ 法改正に伴う戸籍コンビニ交付システムの改修
	6,027 千円（当初予算額）
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種証明書等コンビニ交付サービス事業を継続実施 ・ 戸籍証明書の交付サービスの追加 ・ 法改正に伴う戸籍コンビニ交付システムの改修
	5,446 千円（決算額）
関連する 成果指標（KPI）	

2 内部評価

(1) 担当課評価【第1次評価】

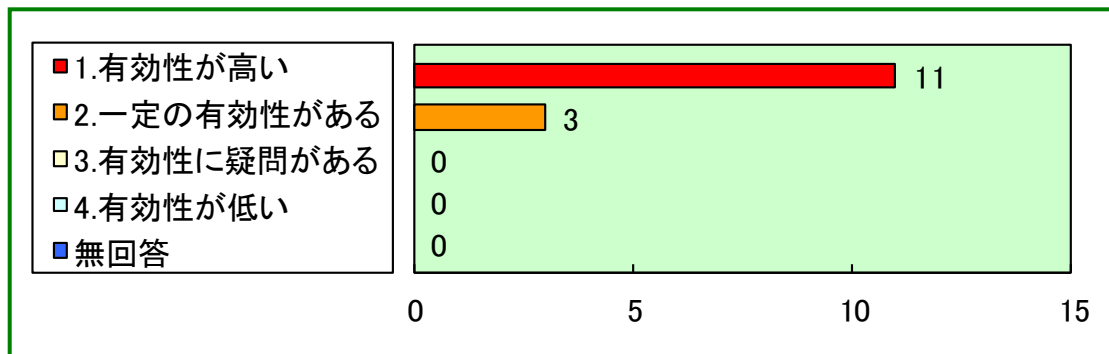
事業 の 評 価	評価項目		コメント
	有効性	1. 有効性が高い	コンビニ交付サービスの導入以降、毎年、交付数が大幅に増加している。
	効率性	1. 効率性が高い	マイナンバーカードの普及率向上とともに交付数が増加し、窓口の混雑緩和など業務の効率化が見込まれる。
	妥当性	1. 妥当性が高い	国においてもマイナンバーカードの利用方法として、コンビニ交付を推奨しており、住民サービスの向上、利便性の拡大が図れている。
総合 評価	1. 順調である	各種証明書等コンビニ交付サービス事業の継続実施を行い、さらに住民サービスの向上、利便性拡大、新型コロナウイルス感染症の感染機会を減らすため、戸籍証明書の追加を行い順調に交付数が増加している。また、法改正に伴う証明内容の変更に対応するため、コンビニ交付システムの改修を適宜行った。	

(2) 町長評価【第2次評価】

事業 の 評 価	評価項目		コメント
	有効性	1. 有効性が高い	役場に来庁しなくても、コンビニで各種証明書の交付が受けられることは、住民の利便性の向上に繋がり、有効性が高い事業である。
	効率性	1. 効率性が高い	コンビニ交付サービスはマイナンバーカードの普及率向上に繋がる事業のため、効率性が高い事業である。また、コンビニ交付サービスが定着することで、役場窓口の混雑が緩和されれば、迅速な窓口が対応が可能となり、住民サービスの向上に繋がる。
	妥当性	1. 妥当性が高い	国においてもマイナンバーカードの普及を促進しているため、コンビニ交付サービスは、妥当性の高い事業である。
総合 評価	1. 順調である	住民サービスの向上及び事務の効率化が図れる事業である。各種証明書等コンビニ交付サービスを利用するためには、前提としてマイナンバーカードを所持している必要があるため、マイナンバーカードの普及率を向上させる必要がある。マイナンバーカードを利用すれば、各種証明書等がコンビニで交付が受けられことを、積極的に周知を行い、利用者が増加するよう努めること。	

3 外部評価 【第3次評価】

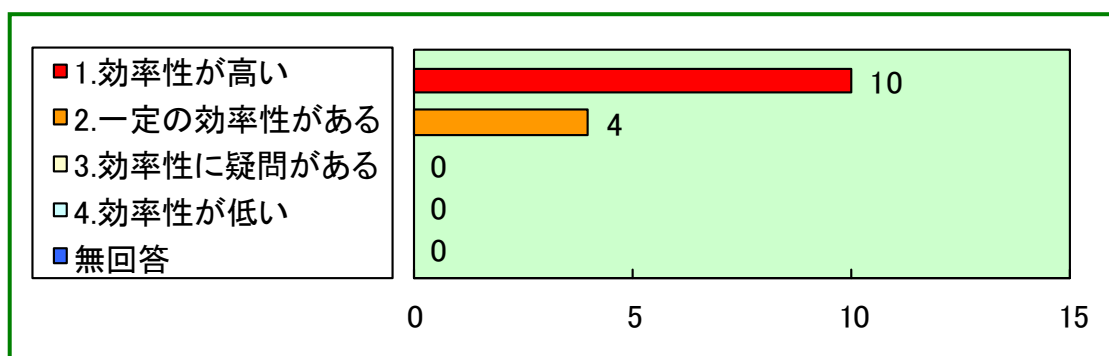
① 事業の有効性



委員からのコメント

- 高齢者はチョットつらいかも。
- 役場内での証明書が早く取れる（コンビニ等があるから）。
- 利用者も年々増加している。必要とされていると思われる。
- 役場に行けない、遠いなどの解消になっている。
- 主要施策の窓口サービスの向上もあるが、住民の利便性からみても有効である
と考える。
- マイナンバーカードの交付数に左右されるが、コンビニでの交付数が増加して
いること、コンビニの発行数が増加することは、利便性の向上につながる。有
効性が高いと評価する。
- 交付数が大幅に増加しているため、一定の有効性がある。
- マイナンバーカードの交付率が向上しており良好。

② 事業の効率性

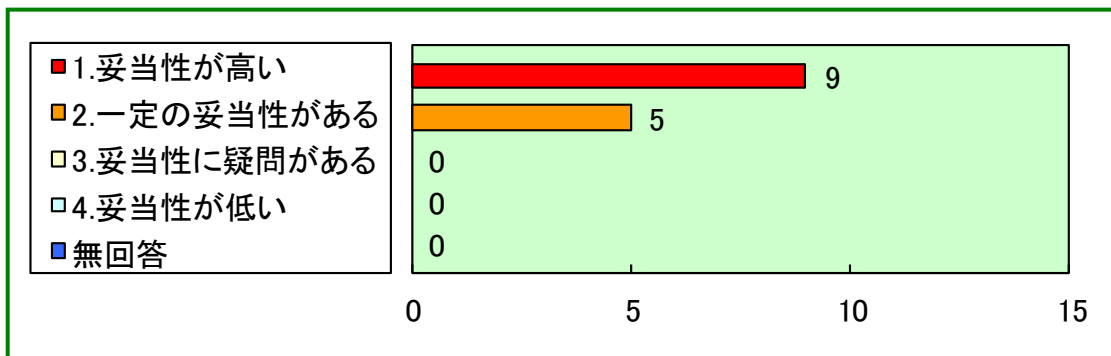


委員からのコメント

- 効率性はとても良いと思います。
- 公民館なども。

- 町民全体が理解してないため。
- 窓口職員の人数削減には繋がっていないようだが、手数料収入からコンビニ交付にかかる費用が賄われているようなので効率性は高いと思う。
- コンビニの発行数の増加は役場窓口の混雑緩和につながり。役場の効率性を向上させるものと評価する。
- 窓口の混雑緩和など業務の効率化が一定見込まれる。
- 発行実績も UP しており良好。

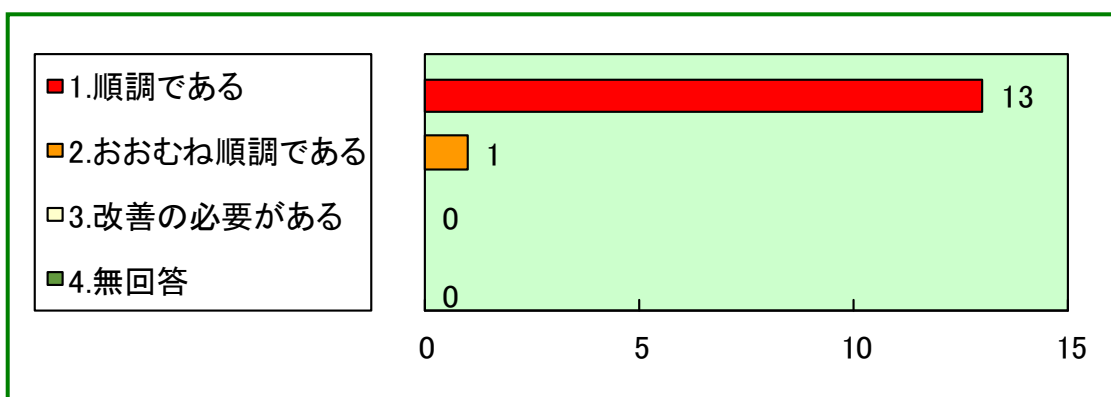
③ 事業の妥当性



委員からのコメント

- 適正だと考えます。
- マイナンバーカードの普及促進にも繋がり、窓口業務の削減によるサービス向上にも繋がるため、妥当性は高いと思う。
- 国のマイナンバーカードの普及促進施策の流れと同一の方向性。住民サービスの向上、利便性の拡大の観点からも妥当性は高いと評価。
- 住民サービス向上、利便性の拡大を図るため、妥当性が高い。
- 住民の利便性は向上しており良好。

④ 総合評価



委員からのコメント

- 周知を行い、特に高齢者に理解を求める。
- コンビニ交付においては時間が長いので良いと思う。
- 国の施策との関連もあるが、これからの時代に必要な事業である。町民の利便性をさらに図っていただきたい。
- このサービスはとても便利で時間のとれない人、現代の人には使いやすいものだと思う。
- カードの取得率を高める必要があると思う。カード取得の推進を。
- 住民の利便性からもコンビニ交付サービスの取り扱い事項が増えることを期待します。
- 昨今の DX の流れに沿った施策だと思います。一層のマイナンバーカードの施策（普及に向けた）を進め、交付数の増加につなげて頂きたいと思います。
- マイナンバーカードの普及率とコンビニ交付の利用率の差が大きい。町民への啓発を推進し、差が縮まり、より効果が高まることを期待する。マイナンバーカードの普及率の向上のための取組みが不明です。他課との連携含め重要だと思われます。（一度利用してみると、その利便性がわかる、そのあたりの広報を促進しては）
- 肝心のマイナンバーカードの普及率の向上を目指していただきたい。
- 課長の説明わかりやすかったです。事業は順調に進んでいると考えます。
- 特に若い人達にとって有効であると考えます。事業の目的（主要施策）に、住民サービスの向上も含まれたい。

5 おわりに

町では、第6次杉戸町総合振興計画に掲げられた町の将来像である「みんなで育てるまち すぎと」に向け、第1次実施計画に掲げた様々な事務事業を実施してきたところであるが、今回、総合振興審議会において、そのうちの2事業について評価を行った。

外部評価を行うにあたり、事業を実施した担当課から直接説明を受け、質疑を行うことで、単に成果を確認することに留まらず、担当課の考え方なども聞くことができ、事業の妥当性や今後の展望などを踏まえて、客観的な評価を行うことができた。

今回、外部評価を実施した事業については、健康分野や窓口サービス分野など、住民生活に身近な事業であり、今回の評価結果を有効に活用し、より良い事業となることを期待する。

結びに、この報告書の内容については、第3次実施計画の策定や、令和5年度の予算編成に活用していくとともに、今後の杉戸町発展の一助となれば幸いである。

杉戸町総合振興審議会委員名簿

1号委員（関係団体等を代表する者）7名（敬称略）

No	氏名	備考
1	木村 三樹男	
2	大橋 登喜夫	
3	板橋 昇	職務代理者
4	鈴木 豊	
5	宮野尾 政子	
6	金久保 繁	
7	坂本 吉江	

2号委員（識見を有する者）4名

No	氏名	備考
8	水野 順子	
9	石井 康之	
10	佐々木 誠	
11	菊地 信一	会長

3号委員（まちづくりに関心の高い者）3名（公募）

No	氏名	備考
12	新井 晃	
13	宮脇 俊幸	
14	亀田 明憲	